

登録コード	J9020108	開講年度	2026				
授業科目	新入生ゼミナール					担当教員	弘中 章
英文授業名	Fresher's Seminar					副担当	久保田 隆・金井 悠一郎・濱田 新
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学年	法：1年
講義室			授業区分	演習	遠隔授業科目		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】		
	経法23加（2026改）・総合法律，経法23加・総合法律 法学の専門領域の基礎能力として，リーガルマインドを備え，現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な法学体系の基礎専門知識を身につける。					・リーガルマインドを備え，現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な法学体系の基礎専門知識として，民法・刑法に関する基礎的な法概念や理論，判例について説明することができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	民事法及び刑事法の各分野の基本的な問題について演習形式での検討を行う。 2年次の法律基礎科目、基礎演習Iを履修するために必要な、読解力、問題解決力、文章作成能力等を養うとともに、法的分析・法的議論を行う能力を身につける。 具体的な内容は以下の通りである。 民事法分野では、重要な判例（第一審判決・控訴審判決・上告審判決）を取り上げ、判決文の読解を行う。また、事例問題の検討を行い、民法分野（特に民法総則）の基礎的な理解を確認するとともに、事例問題に関する答案の作成を通じて、法的な文書の書き方を身につける。 刑事法分野では、初めに刑法という法がどのような特質を有しているかを概観した上で、4件の重要な判例を取り上げ、判例の読解を行う。また、演習終了後に、演習で取り上げた判例に関するレポートを作成することを通して、復習をはかるとともに、判例・文献の調べ方や、法的な議論を文章表現する力を身につける。						
(5)授業計画	初回はガイダンスを行い、残りは刑事法分野6回、民事法分野6回、研究者倫理講習1回にあてる。 民事法分野のうち、前半3回で判例読解を行い、後半3回では事例問題を検討する。 刑事法分野のうち、初回は全員での議論を通して刑法について理解を深め、残りの5回で判例読解を行う。 授業進行のイメージは以下のとおりである。 第1回 ガイダンス 第2回 民事法（判例読解その1） 第3回 民事法（判例読解その2） 第4回 民事法（判例読解その3） 第5回 民事法（事例検討その1） 第6回 民事法（事例検討その2） 第7回 民事法（事例検討その3） 第8回 刑事法（刑法の基礎について議論する） 第9回 刑事法（判例読解その1） 第10回 刑事法（判例読解その2） 第11回 刑事法（判例読解その3） 第12回 刑事法（判例読解その4） 第13回 刑事法（判例読解その5） 第14回 研究者倫理に関する講習 第15回 総括_授業アンケートの実施 * 以上の授業計画に基づいた具体的なスケジュールについてはガイダンス時に示す。						
(6)成績評価の方法	判例を正確に理解している、課題の問題点を的確に把握している、課題に対する妥当な解答を論理的に示しているなど、読解力、問題解決力、文章作成能力等が教員を感心させる程度に突出して優れていれば「卓越している」。優れていれば「かなり上にある」。水準を超えていれば「やや上にある」。水準に到達していれば「その水準にある」。						
(7)成績評価の基準	民事法分野の成績と刑事法分野の成績の合計により成績評価を行う（民事法分野の成績と刑事法分野の成績の比率は1対1である）。 いずれの分野の成績も、各回の報告・討論の内容、レポートの内容などをもとに総合的に評価する。 なお、法学検定の受験を推奨しており、その成績を加味する。						
(8)事前事後学習の内容	授業で検討する課題を予め配布するので、受講生は、課題についてしっかり検討したうえで、授業に臨むこと。 1回に配布する課題の分量は、事前学習におおよそ1時間から2時間を要する程度のものである。						
(9)履修上の注意	経法学部総合法律学科の1年生を対象とする。総合法律学科の1年生は、この科目を必ず履修しなければならない。各自指定された教員のクラスに学務グループが履修登録する。毎回出席を確認する。病気等で欠席せざるをえない場合は、担当教員にその旨連絡すること。						
(10)質問、相談への対応	各担当教員から説明するので、それに従うこと。						
【教科書】	必要に応じて、各担当教員が指示する。						
【参考書】	必要に応じて、各担当教員が指示する。						